



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Seisansei Shimbun (25 May 2016, Japan)

Page: 1

生産性向上が原動力
APO ジャカルタで理事会

第58回 APO (アジア生産性機構) 理事会が4月19日、インドネシアのジャカルタで開催された。

インドネシアのハニフ・タキリ労働大臣(写真、インドネシア労働省提供)は、同

国の生産性向上施策は、公的機関のグッド・ガバナンス(良い統治)の整備、技術革新の促進、人材の能力向上、生産的な文化の醸成の四つの戦略からなり、高い生産性と競争力を維持することが優

先課題だと強調した。議長を務めるシャフカット・ウル・レーマン・ラシヤ・パキスタン代表理事は、「生産性向上を経済発展の原動力

とすること、世界の状況は変わっているものの、生産性向上が繁栄の源泉であることは不変との考えが述べられた。

2016年9月に就任する次期事務局長にはサンティ・ガノック・タナボン・タイ代表理事が選出された。サンティ氏は、APO加盟国が厳しい経済状況と目まぐるしい技術革新の中にある、この状況に各国が順応していくために、APOの活性化に引き続き尽力したと述べた。

とすること、世界の状況は変わっているものの、生産性向上が繁栄の源泉であることは不変との考えが述べられた。

2016年9月に就任する次期事務局長にはサンティ・ガノック・タナボン・タイ代表理事が選出された。サンティ氏は、APO加盟国が厳しい経済状況と目まぐるしい技術革新の中にある、この状況に各国が順応していくために、APOの活性化に引き続き尽力したと述べた。

とすること、世界の状況は変わっているものの、生産性向上が繁栄の源泉であることは不変との考えが述べられた。

2016年9月に就任する次期事務局長にはサンティ・ガノック・タナボン・タイ代表理事が選出された。サンティ氏は、APO加盟国が厳しい経済状況と目まぐるしい技術革新の中にある、この状況に各国が順応していくために、APOの活性化に引き続き尽力したと述べた。

(生産性新聞 2016年5月25日付 1面)